

マイコンキットドットコムの MK-109 自動再生式超薄型 10 秒ボイスレコーダーボードは、オリジナルの音声メッセージカードが簡単に作れる録音再生ボード(マイク、スピーカー、電池、録音用ボタン・再生用スライドスイッチ付き基板。組み立て済み。ハンダ付け必要なし)です。裏面の両面テープで自作のバースデーカードや、お祝いのカードに貼り付けられれば、みなさんの声でメッセージを送れます。誕生日に「おめでとう」とのメッセージ、夜遅く帰宅したお父さんさんへ子供さんからの「お帰り」とのメッセージ、買い物のときに持参すれば「ダイコン、ニンジン、ねぎ・・・」と備忘録に、ブックカバーに貼り付けられれば音声でしおり「今日は230ページまで」、など使い方は無限。録音ボタンを押し、内蔵マイクにメッセージを録音するだけの簡単操作。再生は、折り曲げたメッセージカードを開くと自動的に再生される仕組みの「スライドスイッチ」を使用。IC チップを直接ボードにマウントした COB 型(チップ・オン・ボード)の録音・生成用 IC を使用して、音声を約 6.4KHz サンプリングしています。

特長:

- ・ 不揮発性フラッシュメモリ使用
- ・ バックアップ用の電池や電源は不要
- ・ 使い方はきわめて簡単
- ・ 押しボタンスイッチで録音、折り曲げたメッセージカードを開くと再生するスライドスイッチで再生
- ・ 低消費電力(動作中約 25mA、待機中約 5 μ A)
- ・ 小型マイク付き
- ・ 自動パワーダウン(約 0.5 μ A)
- ・ LR1130 ボタン電池(相当品)3 個使用(内蔵)
- ・ ボードサイズ約 50mm × 33mm × 6mm、スピーカー約 40mm、押しボタンスイッチ約 7mm × 7mm

使い方:

ボタン電池 3 個が電池ホルダーから、外れていないか確認してください。

裏面の両面テープをはがして、自作のバースデーカードなどに貼り付ける前に動作確認してください。

1. 電池の保護シートの取り外し・・・ボタン電池ホルダー1 つに挿入されている小さな白い保護シートを抜きます(下図)。

2. 両面テープ・・・貼り付ける場所をよく検討してください。再生用のスライドスイッチは、開いたときに再生する仕組みのスライドスイッチを使用しています。つまり、折り目にうまく貼り付けなければなりません。下図を参照してベストな位置を決めてください。次に裏面の両面テープをはがし、自作のカード、ブックカバーなど好きな場所に、本体ボードとスピーカーと押しボタンスイッチ(録音用)を、貼り付けます(注意! 押しボタンスイッチ(録音用)には両面テープは付いていません)。

3. 録音・・・録音スイッチ(赤い線材の付いた押しボタンスイッチ)を録音している間、ずっと押します。スイッチを押しながらマイク(下図)に近づいて(10cm くらい)、話します。録音時間が 10 秒を超えると、録音は強制的に終了されます。以前に録音されている音声があった場合は、

録音ボタンを押すと強制的に消去し、新しい音声を録音します。

4. 再生・・・スライド式のスイッチ(押しボタンスイッチは付いていません)をスライドすると録音された音声の最初から最後まで再生します。以前に録音されている音声より、今録音されている音声のほうが短くても、残りの以前の録音された音声は消去されます。(注意! 再生時に「シャー」というノイズが若干出ます。「ブチッ」という音が終了時に入る場合があります。)

5. 待機・・・再生や録音終了後に自動的にスタンバイモードになります。しかし自作のカードなどは開いたまま(再生スイッチがオンになったまま)にしないでください。この場合はスタンバイモードになりません。

6. 再録音の禁止・・・バースデーカードやお祝いカードなどとして使用した場合、再度録音されたくないとき(消去されたくないとき)があります。その場合は、録音スイッチ(赤い線材の付いた押しボタンスイッチ)と小型マイク(ボード上に直接取り付けられている場合あり)を切断し、取り除いてください。切断するときは、電池をはずし、できるだけ本体ボードの近くで、1 本ずつ切断してください(絶対に 2 本同時に切らないでください。切断時に接触して、一時的に録音状態になり、消去する可能性があります)。

注意事項:

・ マイコンキットドットコムの MK-109 自動再生式超薄型 10 秒ボイスレコーダーボードは、ケースには入っていません。写真のとおり回路基板のままですので、配線を切らぬよう、部品を曲げないように、取り扱いには十分ご注意ください。お子様が電子部品(コンデンサ、ボタン電池、マイク、スピーカーなど)を誤って口に入れないように十分にご注意してください。

・ ボタン電池(LR1130)交換時はショートに注意してください(絶縁された棒で押すと簡単に外れます)。上がプラス、底がマイナスになるように挿入してください。

・ ボタン電池を保持している板バネが弱くなり接触不良になる場合があります。最悪の場合、動作しません。そのときは電池をはずし、板バネ部分をピンセットなどで少し押ししてください。(次ページの拡大写真参照)

・ 押しボタンスイッチ(録音用)が接続されている線材のボード側の取り付け部分は、切れる場合があります。その場合は、線材を再度ハンダ付けしてください。

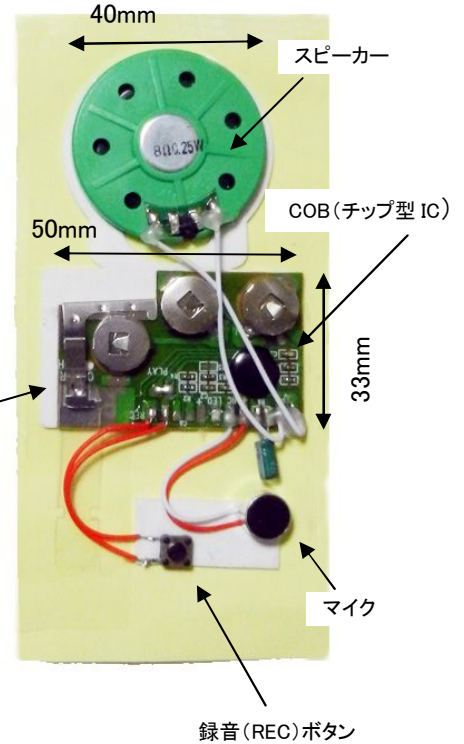
・ 湿度が高い場所では、押しボタンスイッチの接触が悪くなる場合があります。

・ ボタン電池(LR1130)が、輸送時などに衝撃で外れる場合があります。バースデーカードなどとして、プレゼントするときは外れることのないように粘着テープ、シリコンゴム、などで外れないようにしてください。

・ スピーカーには強力な磁石が入っていますので、磁気カード(クレジットカード、銀行の ATM カードなど)は絶対に近づけないでください。磁気カードに記録されたデータが消去される場合があります。

不明な点は下記の Email アドレスにお問い合わせください。 support@mycomkits.com

上面図

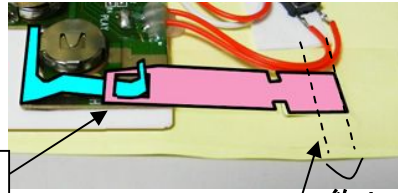


ボタン電池部分拡大



保護シート。ご使用前になる前に抜いてください。

金属バーと透明スライドタブ

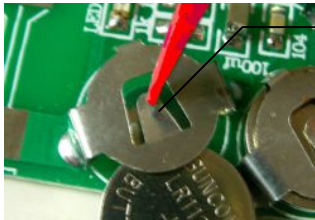


金属バーが透明スライドタブの穴から外れている場合は下から挿入してください。

約4mm

スライドバー台紙の左右にくぼみがある。その部分でカードが折れるように貼り付ける

ボタン電池を保持する板バネ拡大



接触不良やボタン電池がはずれやすい場合はこの板バネを押ししてください。注意：接触不良の場合は動作しません。

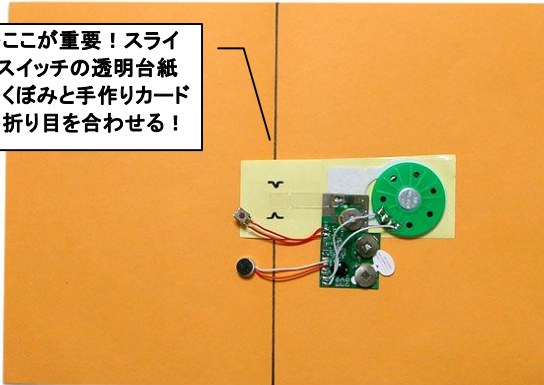
スライドスイッチ
透明のスライドバーが動くことによって、基板と金属が接触し、再生がスタートします

メッセージカードへの貼り付け手順

1. 位置決め

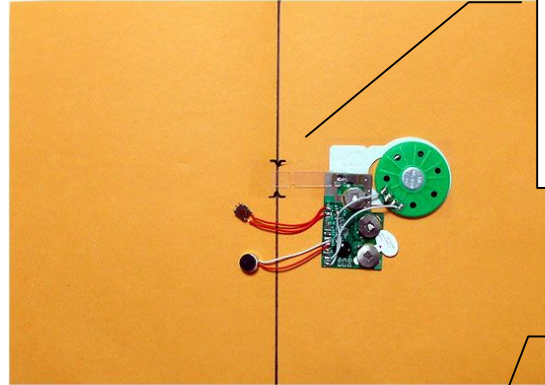
透明シート(スライドバー)の透明台紙のくぼみとメッセージカードの折り目を合わせる。写真では黒インクでスライドバーのくぼみを強調しています。実際には黒インクは描かれていません

◆ここが重要！スライドスイッチの透明台紙のくぼみと手作りカードの折り目を合わせる！



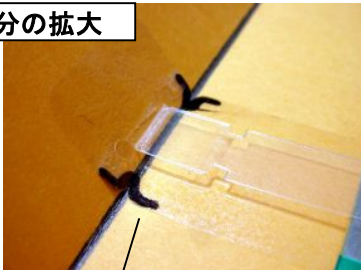
2. ウラのワックスシートをはがし、貼り付ける

注意！この貼り付け例では、ボイスレコーダーボードの録音ボタンとマイクを残していますが、実際に使用される時は、誤って再度、録音されないように切断、削除してください。

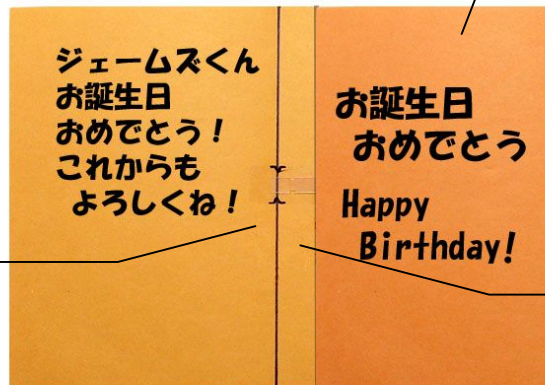


◆ここが重要！スライドスイッチのスライドバーが上の紙で隠れないように。また2mm程度浮き上がるようにしてください。常に見えるようにするのがコツです。紙を貼り付けるためのノリは折り目側以外の三辺だけに付けてください。

折り目部分の拡大



3. 装置が隠れるようにさらに紙を貼り付ける



メッセージカードを折り曲げると透明のスライドバーが少し浮き上がり、同時に再生スイッチがオフになります。

写真では黒インクでスライドバーのくぼみを強調しています。実際には黒インクは描かれていません。

注意！誤って録音されないようにボイスレコーダーボードの録音ボタンとマイクを取り去ります。